



登米市民病院 だより

令和4年3月 第29号

編集・発行 / 事務局

TEL 0220-44-4795

FAX 0220-22-0345

E-mail iryoshimin-kanri

@city.tome.miyagi.jp

佐沼高校のみなさんから 感謝のメッセージと折り鶴



昨年12月27日に佐沼高校生が、生徒会のボランティア活動として有志を募り「医療従事者に感謝と激励の気持ちを伝える」ため、メッセージカードに感謝の言葉と折り鶴約1万羽を折って、病院に届けてくれました。

また、昨年度には、院内保育所のためっこ保育園の園児たちと北方小学校の児童・先生方からも応援メッセージを届けてもらいました。感謝のメッセージと折り鶴は本館1階患者相談窓口のほす向かいに掲示しています。折り鶴は病棟や救急外来に飾っています。

このような地域の皆さんからの感謝のメッセージなどを励みとして、職員一同これからも頑張ります！



院内保育所からのメッセージ



北方小学校からのメッセージ

ホッとサロンとめ設立10周年記念集いの会

昨年10月30日に「がん患者とその家族を支える会 ホッとサロンとめ」の設立10周年記念集いの会が、当院と登米保健所の後援のもと中田農村環境改善センターで開催されました。

市内外から50名が参加し、熊谷市長、市議会議員（教育民生委員会）、関係団体の代表者等が来賓に招かれ、開会にあたり氏家副議長が祝辞を述べました。東北落語の六華亭遊花さんの講演では笑いが絶えず、明るい雰囲気の中での開催となりました。

代表の鈴木玲子さんは、ご自身のがんを患った経験から、会を発足するに至った経緯、その後10年間の歩みを振り返り、同じような立場の「患者同士の支え、家族同士の支え」が治療や療養の力になること、またそのことがご自身の勇気と元気にもなり、今後も皆さんと共に歩んでいきたいと抱負を述べていました。

ホッとサロンとめは、「前向きに生活できるように、そっと寄り添いながら」と「頑張らずに前向きに」をコンセプトに、毎月の茶話会の開催、ウィッグの貸し出しや個別相談などの活動をしています。がんでお悩みの患者さんやご家族の方は、ホッとサロンとめにご相談されてみてはいかがでしょうか？

代表 鈴木玲子 070-2011-0928

電話受付時間9時～18時（時間厳守）



鈴木代表



氏家副議長

消防学校医療機関実習の受入れ



患者さんの血圧測定を実施

2月16日、17日に登米市消防本部所属で宮城県消防学校で研修中の職員2名が当院で病院実習を行いました。

実習では救急患者が病院に搬送された際の流れ、外傷処置、モニター等の使い方、X線検査、生理検査、手術見学などを学びます。病院の業務全般から、医学的知識まで幅広く学ぶ内容となっています。

病院研修の感想の紹介

・手術の見学など、病院以外では体験できないことが、体験できてよかった。

・救急患者さんが病院に着いてから、実際にどのような流れで対応をしていくのか確認することができた。



臨床検査技師長の講義